



## 令和元年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和元年8月13日

上場会社名 横浜冷凍株式会社  
 コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩淵 文雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員広報IR部長 (氏名) 吉田 豊  
 四半期報告書提出予定日 令和元年8月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 045-210-0011

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和元年9月期第3四半期の連結業績(平成30年10月1日～令和元年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
元年9月期第3四半期	106,779	△17.8	3,743	8.1	4,137	10.5	2,550	8.3
30年9月期第3四半期	129,969	10.4	3,463	△17.5	3,742	△18.3	2,354	△15.8

(注) 包括利益 元年9月期第3四半期 1,132百万円 (△67.6%) 30年9月期第3四半期 3,495百万円 (△33.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
元年9月期第3四半期	43.51	—
30年9月期第3四半期	42.58	39.81

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
元年9月期第3四半期	185,856	78,546	41.3	1,309.18
30年9月期	186,791	78,858	41.5	1,321.87

(参考) 自己資本 元年9月期第3四半期 76,732百万円 30年9月期 77,475百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年9月期	—	10.00	—	13.00	23.00
元年9月期	—	11.50	—	—	—
元年9月期(予想)	—	—	—	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 令和元年9月期の連結業績予想(平成30年10月1日～令和元年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	△12.7	5,800	20.2	6,000	11.7	3,700	10.7	63.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、平成30年9月30日現在の発行株式数(自己株式を除く)を使用しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

元年9月期3Q	59,266,684 株	30年9月期	59,266,684 株
---------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

元年9月期3Q	656,005 株	30年9月期	655,886 株
---------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

元年9月期3Q	58,610,767 株	30年9月期3Q	55,298,192 株
---------	--------------	----------	--------------

当第3四半期末において、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式319,900株を自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成30年10月1日～令和元年6月30日)におけるわが国の経済は、輸出と製造業に海外経済の減速などの影響を受けながらも、雇用・所得環境の改善や堅調な企業収益を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。

しかし、米中貿易摩擦の長期化に伴う中国経済の不確実性や、英国のEU離脱問題など、企業マインドの冷え込みにつながりかねない状況が続いており、依然として先行きは不透明な環境が続いています。

また、当社グループが係わる食品関連業界では、人件費や物流コストの上昇があり、引き続き厳しい状況が続いています。

このような状況のもと当社グループは、平成29年10月にスタートさせました第六次中期経営計画「Growing Value 2020」(3ヵ年)に基づき、冷蔵倉庫事業では「マーケットインに応える革新と進化」を目指し、食品販売事業では「食料資源の開発と食プロデュースによる安定供給構造の構築」を目指して、事業運営方針の各施策に取り組んでいます。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高106,779百万円(前期比17.8%減)、営業利益3,743百万円(前期比8.1%増)、経常利益4,137百万円(前期比10.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2,550百万円(前期比8.3%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりです。

## (冷蔵倉庫事業)

当第3四半期連結累計期間は、増収増益となりました。昨年新設した東京羽田物流センター、名港物流センターが共に順調に稼働し、保管料収入・荷役料収入が増加しました。

また、既存の物流センターは、高い在庫率が続いたことに加え、中計の主要施策である付加価値サービスの拡大に取り組み、増益に貢献しました。タイの連結子会社THAI YOKOREI CO., LTD. は、同国内での高い在庫水準が続いており、当セグメントの増益に寄与しました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績は、売上高は21,189百万円(前期比8.3%増)、営業利益は4,971百万円(前期比6.3%増)となりました。

## (食品販売事業)

当第3四半期連結累計期間は、減収増益となりました。

水産品は減収減益となりました。輸出向けのサバや、利益率の回復したエビは増益となり、収益に寄与しました。イカは収益が回復しましたが、累損を埋めるには至らず減益となりました。また、売却損の発生したホッケは減益となりました。なお、売上減少の主な要因は、ノルウェーから欧米への鮭鱒輸出事業の計上基準を変更したことによるものです。

畜産品は、減収ながら利益は横這いとなりました。ポークは荷動きの停滞から減益となりました。前年の相場悪化から回復したチキンは利益率が向上し、大幅な増益となりました。

農産品は、主力商材の馬鈴薯が販売環境の悪化により取扱量を落としたため、減収減益となりました。

ノルウェー養殖事業は、国内在庫の消化が進んだため増収増益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績は、売上高は85,547百万円(前期比22.5%減)、営業利益は746百万円(前期比7.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ934百万円減少し、185,856百万円となりました。これは主に短期貸付金が6,084百万円増加したこと、商品が3,153百万円、受取手形及び売掛金が2,771百万円、投資有価証券が1,610百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ621百万円減少し、107,310百万円となりました。これは主に繰延税金負債が653百万円減少したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ312百万円減少し、78,546百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ757百万円増加の3,665百万円となりました。当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、19,187百万円の資金の増加(前年同四半期は5,299百万円の資金の減少)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益4,137百万円、減価償却費4,230百万円、売上債権の減少額2,716百万円、たな卸資産の減少額3,050百万円、前渡金の減少額4,545百万円等による資金の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、18,115百万円の資金の減少(前年同四半期は13,932百万円の資金の減少)となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出11,224百万円、貸付による支出7,495百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、290百万円の資金の減少(前年同四半期は17,221百万円の資金の増加)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額1,342百万円による資金の増加と、配当金の支払額1,444百万円等による資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和元年9月期の連結業績予想につきましては、「平成30年9月期 決算短信」(平成30年11月14日付)で公表した数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,917	3,675
受取手形及び売掛金	21,014	18,242
商品	24,608	21,455
前渡金	6,708	2,175
短期貸付金(純額)	10,862	16,947
その他	1,179	1,210
貸倒引当金	△19	△17
流動資産合計	67,272	63,689
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	41,719	44,832
機械装置及び運搬具(純額)	7,051	9,576
土地	28,157	29,999
リース資産(純額)	1,062	1,475
建設仮勘定	6,233	3,522
その他(純額)	1,014	1,176
有形固定資産合計	85,239	90,583
無形固定資産		
のれん	7,032	6,283
海外養殖事業ライセンス	7,263	6,913
その他	1,813	2,357
無形固定資産合計	16,109	15,555
投資その他の資産		
投資有価証券	12,839	11,228
長期貸付金	4,023	3,928
繰延税金資産	634	214
その他	762	742
貸倒引当金	△88	△86
投資その他の資産合計	18,170	16,029
固定資産合計	119,518	122,167
資産合計	186,791	185,856

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,158	5,227
短期借入金	27,841	31,480
1年内返済予定の長期借入金	8,152	7,328
リース債務	157	230
未払法人税等	760	437
賞与引当金	764	217
役員賞与引当金	32	24
その他	7,358	5,124
流動負債合計	49,227	50,071
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	43,485	42,082
リース債務	584	931
繰延税金負債	3,418	2,765
役員報酬BIP信託引当金	167	208
退職給付に係る負債	583	648
資産除去債務	91	91
その他	373	512
固定負債合計	58,705	57,239
負債合計	107,932	107,310
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,303	14,303
資本剰余金	14,370	14,370
利益剰余金	44,014	45,121
自己株式	△507	△507
株主資本合計	72,181	73,287
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,710	2,595
繰延ヘッジ損益	△43	46
為替換算調整勘定	1,593	754
退職給付に係る調整累計額	33	47
その他の包括利益累計額合計	5,294	3,444
非支配株主持分	1,382	1,814
純資産合計	78,858	78,546
負債純資産合計	186,791	185,856

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年10月1日 至令和元年6月30日)
売上高	129,969	106,779
売上原価	118,706	95,188
売上総利益	11,263	11,591
販売費及び一般管理費	7,799	7,847
営業利益	3,463	3,743
営業外収益		
受取利息	145	531
受取配当金	184	196
保険配当金	37	39
仕入割引	362	238
その他	328	471
営業外収益合計	1,059	1,476
営業外費用		
支払利息	591	595
支払手数料	2	2
その他	185	484
営業外費用合計	779	1,082
経常利益	3,742	4,137
特別損失		
事業所撤去損失	280	—
特別損失合計	280	—
税金等調整前四半期純利益	3,462	4,137
法人税、住民税及び事業税	827	798
法人税等調整額	233	395
法人税等合計	1,060	1,193
四半期純利益	2,402	2,943
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	393
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,354	2,550

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年10月1日 至 令和元年6月30日)
四半期純利益	2,402	2,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	548	△1,114
繰延ヘッジ損益	105	89
為替換算調整勘定	397	△800
退職給付に係る調整額	41	14
その他の包括利益合計	1,092	△1,811
四半期包括利益	3,495	1,132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,416	700
非支配株主に係る四半期包括利益	78	432

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年10月1日 至令和元年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,462	4,137
減価償却費	3,750	4,230
のれん償却額	481	419
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△550	△546
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	△8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10	△4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	146	78
事業所撤去損失	280	—
役員報酬B I P信託引当金の増減額 (△は減少)	6	40
受取利息及び受取配当金	△330	△727
支払利息	591	595
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,696	2,716
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,667	3,050
前渡金の増減額 (△は増加)	1,159	4,545
仕入債務の増減額 (△は減少)	482	1,095
未払費用の増減額 (△は減少)	230	△343
その他	52	965
小計	△2,599	20,243
利息及び配当金の受取額	281	691
利息の支払額	△508	△498
法人税等の支払額	△2,473	△1,248
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,299	19,187
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,860	△11,224
有形固定資産の売却による収入	2	5
無形固定資産の取得による支出	△88	△732
投資有価証券の取得による支出	△2,364	△4
投資有価証券の売却による収入	168	—
貸付けによる支出	△3,377	△7,495
貸付金の回収による収入	640	1,361
その他	△51	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,932	△18,115
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,127	3,558
長期借入れによる収入	8,335	2,065
長期借入金の返済による支出	△4,018	△4,281
社債の発行による収入	10,000	—
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△1,102	△1,444
その他	△118	△188
財務活動によるキャッシュ・フロー	17,221	△290
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	△24
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,966	757
現金及び現金同等物の期首残高	6,399	2,907
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,432	3,665

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,567	110,358	42	129,969	—	129,969
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,488	—	30	1,519	△1,519	—
計	21,056	110,358	73	131,488	△1,519	129,969
セグメント利益	4,678	693	41	5,413	△1,950	3,463

(注) 1.セグメント利益の調整額△1,950百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年10月1日至令和元年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,189	85,547	42	106,779	—	106,779
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,297	—	31	1,328	△1,328	—
計	22,486	85,547	74	108,108	△1,328	106,779
セグメント利益	4,971	746	43	5,762	△2,019	3,743

(注) 1.セグメント利益の調整額△2,019百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。